

地区懇談会におけるご意見・ご提案等(6/29伏見区公民館)

発言要旨	当日の回答要旨	回答者	補足
■ボランティア活動に対する町の支援について 町活性化にはボランティアの活動が必要だと思っている。最近、ボランティアのなり手が厳しくなっている。町からの支援があるとか、そういった点を考えてほしい。	ボランティアに対しての考え方は、押し付けではなく、自発的に行える仕組みや仕掛けをしていきたい。	町長	
	子どもたちが地域で活躍する生活体験が少なくなっているということに一因があるのではと分析をしている。子どもが学校、塾、習い事の往復で、地域で実際に活動し地域の大人と活動してその良さや楽しさ、面白みといった体験があまりにないのではないか。ボランティアは自ら進んで自分が考えて行動し、当事者としての意識を醸成していくというところに意義があるのではないか。大人一人ひとりにもっと清水町の良さや強みを学んでもらい、実感してもらうような学習の場を学校や地域の中でつくるよう、現在、取り組んでいる。ぜひ、地域の大人が子どもたちを育てるという観点で声かけや子どもたちに係わる機会をもっていたきたい。	教育長	
■町の企業・起業支援について 町長の「まちづくりビジョン」の説明の中に「企業の新ビジネスの創出」、「起業家支援」とあったが、町長の具体的なお考えを教えてください。	「企業支援」については、商工会や法人会とこんな制度があったらなど協議しながら進めていきたい。「起業支援」については、ゆうすい未来機構での起業相談等を充実していきたい。	町長	
■「健幸スポーツ駅」と「健幸コンシェルジュ」とは 町長の「まちづくりビジョン」の中の「健幸スポーツ駅」と「健幸コンシェルジュ」について詳しく教えていただきたい。	「健幸スポーツ駅」は、現在、10地区程度の各地区公民館で(介護予防の)健康体操を行っているがこれを拡大していきたい。 「健幸コンシェルジュ」は各地区で行う健康体操にプロのインストラクターなどを派遣して健康の輪を広げていきたい。このことにより、清水町がお達成度No.1を達成し、医療費の縮減につなげていきたい。	町長	